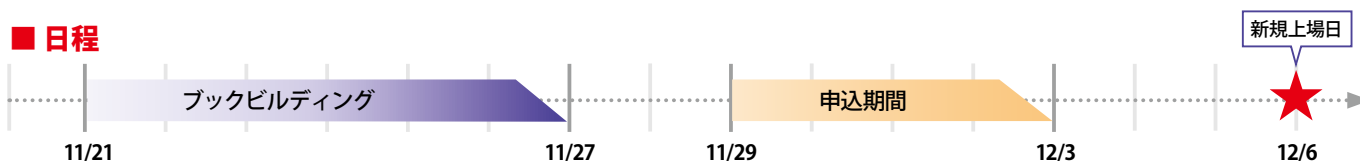


## IPO銘柄 オンコリスバイオフーマ (4588・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4588	100 株	公募：182.0 万株 売出：40.0 万株 (OA33.3 万株)	2,420 円～ 2,600 円 (-)	SMBC日興証券

### ■ 日程



## 抗HIV薬などを開発するバイオベンチャー

### ■ 事業内容

重症感染症治療薬の開発が主力のバイオベンチャー。主力パイプラインは新規抗HIV薬「OBP-601」で、がん分野では肝臓がん、食道がん薬の「OBP-301」がフェーズI、腎臓がん「OBP-801」が前臨床を終えた段階にある。ウイルスを用いた特殊検査プラットフォームを確立して受託検査などを行う検査薬事業も展開。12年12月期の売上高構成比は医薬品事業が99.5%、検査薬事業が0.5%。

### ■ 特徴

医薬品事業では大学などの研究機関や企業から新たな医薬品候補を導入し、当社で前臨床試験などを実施して、その製品的価値を確認した上で、大手製薬企業などにライセンス許諾を行い、マイルストーン収入などを獲得している。主力の「OBP-601」は米ブリストル・マイヤーズに導出しており、臨床試験はフェーズIIまで進ちょく。HIVの複製に必須な逆転写酵素を阻害することを作用機序とし、従来薬で問題となってきた神経障害や脂質代謝異常などの副作用が軽減される可能性がある。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

13年12月期の非連結経常損益は7億6,920万円の赤字（12年12月期実績は9,881万円の赤字）を予想している。アーリーステージにあるバイオベンチャーにとって足元の業績の赤字は仕方ないが、業績面からは評価しづらい状況にある。

### ■ 定性分析

大人気となったリプロセル<4978>以来のバイオ株のIPOとしても注目される。ブリストル・マイヤーズに導出する「OBP-601」の将来性が高く評価される一方で、収益面に寄与するパイプラインが少ないことなどは懸念材料。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約66億円。ベンチャーキャピタル保有株も多く、需給面には不安もある。IPOマーケットの好地合いに支えられるとみるが、既存市場でバイオ株への投資意欲が後退していることには留意したい。

(小泉健太)

### ■ 類似企業

オンコリスバイオフーマ(4588・マザーズ)	予想PER ー (仮条件上限)
メドレックス(4586・マザーズ)	予想PER ー
キャンバス(4575・マザーズ)	予想PER ー

### ■ 引受証券

SMBC日興証券、みずほ証券、エース証券、いちよし証券、香川証券、岡三証券、SMBCフレンド証券、SBI証券、岩井コスモ証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年12月期(実績)	185	—	-74	—	44	—	8.9	—
12年12月期(実績)	396	—	-98	—	-102	—	-16.8	—
13年12月期(会社予想)	0.002	▲ 99.9	-769	赤拵	-771	赤拵	-114.7	—

※ 11年12月期のみ連結決算。13年3月に株式分割(1株→100株)を実施、11年12月期、12年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年12月期	50,431	588	339	2,314	67.4	57.8	14.1
12年12月期	63,271	800	472	2,442	74.7	59.0	—

※ 11年12月期および12年12月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	湘南ソニック1号投資事業有限責任組合	1,890,000	24.34
2	浦田 泰生	814,700	10.50
3	アステラス製薬	727,200	9.37
4	WONIK CUBE Corp.	712,900	9.18
5	KD Partners CO.,Ltd.	442,300	5.70
6	Min Kon Kim	411,900	5.30
7	CBC	375,000	4.83
8	NVCC6号投資事業有限責任組合	240,000	3.09
9	アイビス新成長投資事業組合	187,500	2.41
10	六反田 靖	174,000	2.24

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	浦田 泰生
取締役 経理部長	六反田 靖
取締役 事業開発部長	櫻原 康成
取締役	吉村 圭司
取締役(非常勤)	永井 勝幸
取締役	浦野 文男
監査役(常勤)	森本 兀
監査役	上野 健二郎
監査役	大木 史郎

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会